



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	160,904	3.1	1,389	△22.4	1,696	△12.6	1,010	△17.5
2023年3月期第2四半期	156,104	11.7	1,790	66.8	1,940	59.6	1,225	56.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,735百万円 (49.1%) 2023年3月期第2四半期 1,164百万円 (38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	187.69	-
2023年3月期第2四半期	220.96	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	91,658	27,286	29.8	5,068.98
2023年3月期	81,988	25,927	31.6	4,816.39

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 27,286百万円 2023年3月期 25,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	70.00	70.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	60.00	60.00

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 10円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	1.5	3,000	△24.8	3,200	△25.2	2,200	△28.5	408.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,562,292株	2023年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	179,268株	2023年3月期	179,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,383,166株	2023年3月期2Q	5,545,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法の「5類」に移行し、経済活動の回復は加速しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には持ち直しの動きがみられます。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の上昇等により厳しい状況にあります。また、消費者購買行動では、生活防衛意識の高まりを反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の正常化が進み、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しつつあるものの、内食関連需要は消費者物価の高止まり等から総じて縮小しつつあります。

また、価格動向については、円安やコスト上昇などを反映して、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は全般的に上昇し、これに呼応して販売価格も上昇しています。

業界環境としては、価格上昇により需要が全般的に伸び悩む中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にあります。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業（取引）の拡大」、「加工事業（取引）の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ従業員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は160,904百万円（前年同四半期比103.1%）となりました。損益面では、売上総利益は13,612百万円（前年同四半期比98.2%）となり、営業利益1,389百万円（前年同四半期比77.6%）、経常利益1,696百万円（前年同四半期比87.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,010百万円（前年同四半期比82.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売が回復傾向にある中、販管費の節減に努めましたが、主要商材の一部に相場下落があり、当該在庫の早期販売を積極的に進めた結果、売上高98,083百万円（前年同四半期比100.5%）、セグメント利益750百万円（前年同四半期比54.1%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊関連の販売に加え、インバウンド需要の回復が徐々に進んだことにより、売上高が伸長し、売上総利益率も改善したことにより、売上高63,234百万円（前年同四半期比106.0%）、セグメント利益407百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、総じて販売魚体のサイズが小さく、販売重量が減少したことに加え、販売価格の低下、餌料等の高騰により、売上高3,397百万円（前年同四半期比82.6%）、セグメント利益153百万円（前年同四半期比30.5%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、ホテル・ブライダル向けの販売は回復傾向にあるものの、輸入原料の調達コストが高止まりしていることに加え、米価・副材料等が上昇したこと等により、売上高2,039百万円（前年同四半期比97.4%）、セグメント損失57百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、センター業務売上が増加したこと等により、売上高822百万円（前年同四半期比103.0%）、セグメント損失5百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高2,365百万円（前年同四半期比134.6%）、セグメント利益26百万円（前年同四半期はセグメント損失71百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて9,670百万円増加し、91,658百万円となりました。これは主に、売上債権の増加4,269百万円、棚卸資産の増加3,622百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて8,312百万円増加し、64,372百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加5,400百万円、借入金の増加3,131百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1,358百万円増加し、27,286百万円(自己資本比率29.8%)となりました。これは主に、利益剰余金の増加633百万円、その他有価証券評価差額金の増加654百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて872百万円増加し、3,608百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,221百万円の支出(前年同四半期は7,715百万円の支出)となりました。これは主に、仕入債務の増加5,514百万円(前年同四半期は1,700百万円の増加)がありましたが、棚卸資産の増加3,622百万円(前年同四半期は7,604百万円の増加)、売上債権の増加4,154百万円(前年同四半期は2,794百万円の増加)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは661百万円の支出(前年同四半期は643百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出310百万円(前年同四半期は474百万円の支出)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,756百万円の収入(前年同四半期は8,678百万円の収入)となりました。これは主に、配当金の支払374百万円(前年同四半期は330百万円の支払)がありましたが、借入金の増加による純収入3,131百万円(前年同四半期は9,010百万円の純収入)があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741	3,613
受取手形及び売掛金	30,549	34,818
商品及び製品	29,145	32,676
原材料及び貯蔵品	275	366
その他	861	906
貸倒引当金	△82	△94
流動資産合計	63,490	72,287
固定資産		
有形固定資産	10,663	10,564
無形固定資産	906	1,009
投資その他の資産		
投資有価証券	5,008	5,930
その他	2,249	2,141
貸倒引当金	△331	△275
投資その他の資産合計	6,927	7,797
固定資産合計	18,497	19,371
資産合計	81,988	91,658
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,778	26,178
短期借入金	17,753	21,078
1年内返済予定の長期借入金	2,535	2,461
未払法人税等	822	472
賞与引当金	760	741
その他	3,866	3,846
流動負債合計	46,516	54,779
固定負債		
長期借入金	6,500	6,380
退職給付に係る負債	2,335	2,327
役員退職慰労引当金	112	103
その他	594	781
固定負債合計	9,543	9,592
負債合計	56,060	64,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	13,002	13,635
自己株式	△442	△443
株主資本合計	25,145	25,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,217	1,872
繰延ヘッジ損益	△31	45
土地再評価差額金	△450	△450
退職給付に係る調整累計額	47	41
その他の包括利益累計額合計	782	1,508
純資産合計	25,927	27,286
負債純資産合計	81,988	91,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	156,104	160,904
売上原価	142,240	147,292
売上総利益	13,864	13,612
販売費及び一般管理費	12,074	12,222
営業利益	1,790	1,389
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	99	105
受取賃貸料	88	94
補助金収入	22	172
その他	116	75
営業外収益合計	327	449
営業外費用		
支払利息	96	94
賃貸費用	46	42
貸倒引当金繰入額	32	2
その他	1	2
営業外費用合計	177	142
経常利益	1,940	1,696
特別利益		
受取保険金	-	59
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	5	19
特別利益合計	6	79
特別損失		
災害による損失	98	275
固定資産除却損	1	9
特別損失合計	99	284
税金等調整前四半期純利益	1,846	1,491
法人税、住民税及び事業税	544	401
法人税等調整額	76	79
法人税等合計	621	481
四半期純利益	1,225	1,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,225	1,010

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,225	1,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	654
繰延ヘッジ損益	52	76
退職給付に係る調整額	△25	△5
その他の包括利益合計	△60	725
四半期包括利益	1,164	1,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,164	1,735
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,846	1,491
減価償却費	452	462
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△44
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△133	△41
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△18
受取利息及び受取配当金	△100	△105
支払利息	96	94
売上債権の増減額(△は増加)	△2,794	△4,154
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,604	△3,622
仕入債務の増減額(△は減少)	1,700	5,514
その他	△197	△12
小計	△6,755	△436
利息及び配当金の受取額	100	105
利息の支払額	△100	△97
法人税等の支払額	△960	△793
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,715	△1,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△474	△310
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
その他	△159	△341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△643	△661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,310	3,325
長期借入れによる収入	205	318
長期借入金の返済による支出	△505	△512
配当金の支払額	△330	△374
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,678	2,756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	320	872
現金及び現金同等物の期首残高	2,590	2,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,911	3,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,046	57,768	2,619	1,202	266	154,904	1,200	156,104	—	156,104
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,509	1,867	1,492	890	531	9,291	556	9,848	△9,848	—
計	97,555	59,635	4,112	2,092	798	164,195	1,757	165,953	△9,848	156,104
セグメント利益 又は損失(△)	1,388	△41	503	△41	△10	1,798	△71	1,726	63	1,790

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額63百万円には、セグメント間取引消去429百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△365百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,116	62,117	2,401	1,245	259	159,140	1,763	160,904	—	160,904
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,966	1,117	995	793	562	8,436	602	9,038	△9,038	—
計	98,083	63,234	3,397	2,039	822	167,577	2,365	169,942	△9,038	160,904
セグメント利益 又は損失(△)	750	407	153	△57	△5	1,248	26	1,275	114	1,389

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額114百万円には、セグメント間取引消去496百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△382百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。